

広報

my hometown TOMIOKA 2014

とみおか

12
No.626

どこまでも続く
大空のように絆をつなげて

内堀新知事が双葉郡町村長と意見交換 復興加速に向け意欲を示す



各町村長を前に挨拶する内堀知事(中央)

内堀雅雄新知事が11月13日、富岡町役場郡山事務所において双葉郡町村長と意見交換を行い、復興と再生加速に向けての意欲を新たにしました。

内堀知事は会の冒頭「双葉郡はまだまだ多くの問題が山積している。その一方、イノベーションコースト構想(国際研究産業都市に向けて整備を行い、浜通りの復興の柱とするもの)」など、新しい取組みに向けた動きも出ている。状況は厳しいが、未来に向かって光を強めて行くことが県の役割であり、住民の皆さんの苦しみを一緒に感じながら前に進んで行きたい」と挨拶。その後、各町村長と個別に会談を行い、それぞれの町村が抱える問題や県への要望等について意見交換しました。

話し合いを終えた宮本町長は「内堀知事には双葉郡に対する深い思い入れがある。同じ郡内でも町村ごとに異なる問題を抱えていることから、今回は個別に話を聞いていただいたが、知事は復興に向け今後もよりいっそう前向きに取組んで行く」と語られた。その言葉に、町としても期待するところは非常に大きいものがある」と述べ、今後とも県と密に連携を取りながら前に進んで行く考えを示しました。

富岡町政策化会議が発足 積み上げ型の復興計画を目指す



宮本町長から委嘱状を受取る委員(右)

町は11月7日、町民ワークショップの意見を計画書としてまとめていく政策化会議を発足、宮本町長が委員に委嘱状と辞令を手渡しました。

政策化会議は、町民ワークショップに出席している富岡町役場職員のほか、「富岡町復興まちづくり計画」を取りまとめた日本大学工学部の土方吉雄、浦部智義両准教授、県の避難地域の計画担当者、復興庁福島復興局の職員で構成。議題に応じて、公共交通機関や商業者などの協力を得ながら、ワークショップの意見の計画化を目指します。

会議では、職員委員から計画策定の方針を立てる上で、難しさなど、今後解決すべき課題が多く出されました。今回の会議では、計画素案の作成に向け、ワークショップで出なかつた課題の検討や、ワークショップの意見と現行政策との突き合わせ、既存計画の検討やワークショップでの意見と現行行政修正案などを検討していきます。

今後は、富岡町災害復興計画(第二次)検討委員会と政策化会議が来年3月を目標に素案を取りまとめます。素案は全世帯に配付し、意見公募(パブリックコメント)を行って計画へのご意見を伺いますので、ご協力をよろしく願います。なお、計画の完成は6月を予定しております。

高齢者支援活動の拠点がオープン 「サポートセンターいずみ」11月4日から供用開始



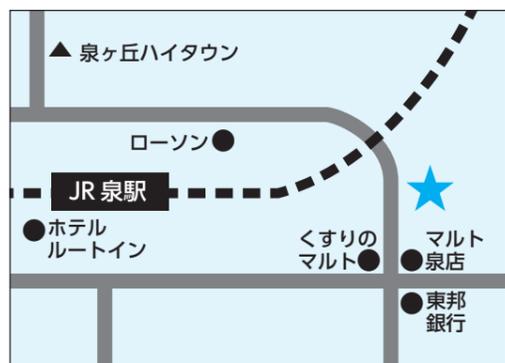
テープカットする左から、常盤峻士 光美会理事長 菊地とも子 相双保健事務所いわき出張所所長 宮本町長、塚野町議会議長、川上延男 泉玉露応急仮設住宅自治会長

いわき市泉町に、同市内では好問町に続き2カ所目となる「富岡町高齢者等サポートセンターいずみ」が完成し、10月28日に開所式が行われました。

サポートセンターは、日常生活において介助や支援を必要とする高齢者等の方々に、総合相談や医療・福祉等の関係機関と連携した支援活動を行う施設です。

開所式では宮本町長が「介護予防の高齢者支援や生きがい対策の交流の場として、多くの皆さんに利用していただきたい」と挨拶。出席した関係者が施設の開所を祝いました。

☎ サポートセンターいずみ
0246-13813821



- ▽ 住所
いわき市泉町滝尻字定ノ田223
- ▽ 営業時間
午前8時～午後5時(土日・祝日は休業)
- ▽ 駐車場
敷地内に80台あり(無料)



デイサービススペース



フィットネスルーム



浴室

今月の表紙

「あなたの町へと続く空」

うろこ雲に覆われ、夕陽が沈もうとしている富岡の秋空。遠く離れていても、この空は大切なふさと富岡につながっています。

広報とみおか12月号(No.626) 主な目次 Contents

内堀新知事が双葉郡8町村長と懇談	02
郡山市日和田に復興公営住宅が完成	06
富岡町消防団が全国大会出場	07
富岡高校女子サッカー部 4年ぶり5回目の全国大会出場へ	08
とびくす	15~16
とみおか桜通信	18~23

富岡町いわき地区拠点 施設が開設されます

富岡町いわき地区拠点施設には、町民の皆さまの利便性向上を図るため、いわき市内に点在する施設を集約しました。同敷地内に多目的に利用できる集会施設も新設されますので、行政区・自治会等の会議や町のイベント等に活用していきます。

『富岡町役場いわき支所』

『富岡町社会福祉協議会いわき事業所』

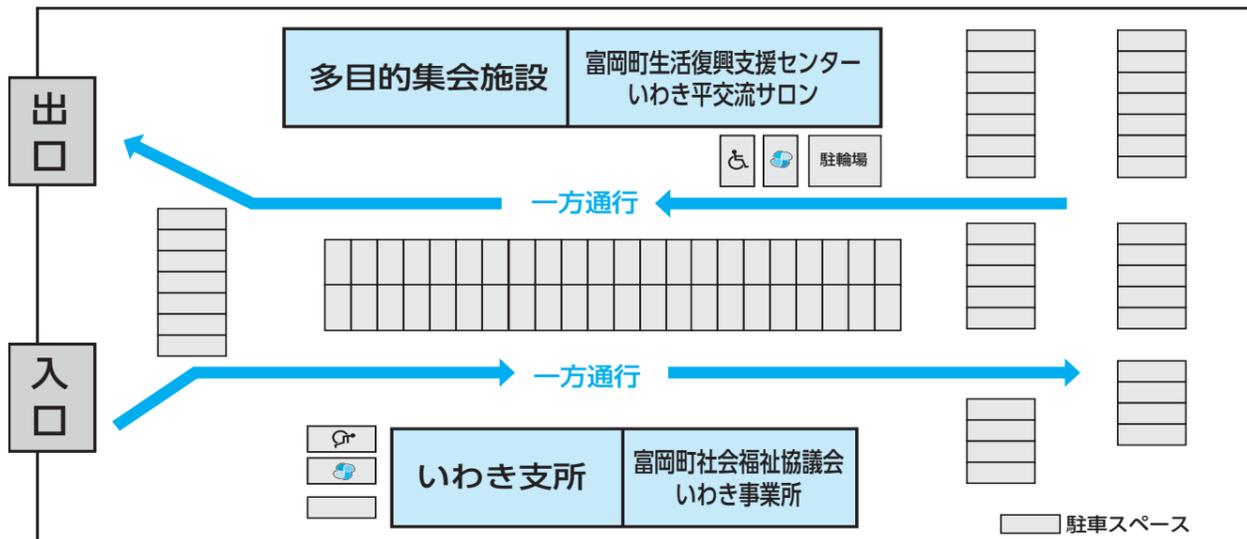
『富岡町生活復興支援センターいわき平交流サロン』

『多目的集会施設』

▼富岡町いわき地区拠点施設地(〒970-8024 いわき市平北白土字宮前8番地)



▼富岡町いわき地区拠点施設敷地内図(敷地内は一方通行です)



◆◆富岡町役場いわき支所からのお知らせ◆◆

富岡町役場いわき支所は、平成23年12月よりいわき合同庁舎内に設置しておりましたが、駐車場が無く階段を使わないと支所に入れななど、町民の皆さまには大変ご不便をお掛けしておりました。

この度、たくさんの方からご協力をいただき、いわき市平北白土へ移転することになりました。新しいいわき支所は、十分な駐車スペースを確保し、足元に不安のある方にも安心して来所いただけるように平屋建てとなっております。

また、環境省所管の家屋解体受付窓口も、支所移転に伴い12月22日より新しいいわき支所内で業務を行います。

▶移転日 平成26年12月22日(月)

※12月19日(金)まで、現在のいわき支所にて通常業務を行います。

なお、12月20日(土)は、移転作業のため日直業務を行いませんので予めご了承ください。

いわき支所で取扱う主な業務

- 戸籍謄抄本・住民票の交付
- 印鑑登録及び印鑑登録証明書の交付
- 税務証明書の交付
- 国民健康保険の加入・喪失手続き及び保険証等の交付
- 健康相談及び母子健康手帳等の交付
- いわき市内仮設住宅の維持管理及び入退居の手続き
- 公益一時立入りの申請受付及び許可証交付
- 避難先住所の変更手続き
- 被災証明書及び届出避難場所証明書の交付



記載以外の事務についても、郡山事務所への取り次ぎ等、可能な範囲で対応いたしますので窓口にご相談ください。

◆◆富岡町生活復興支援センターいわき平交流サロンからのお知らせ◆◆

富岡町生活復興支援センターいわき平交流サロンは、12月22日(月)から富岡町いわき地区拠点施設内に移転し、運営を開始することになりました。

12月9日(火)まで、現在の平サロンを開館しています。

なお、12月10日(水)から21日(日)は、移転作業のため休館とさせていただきますので予めご了承ください。

◆◆富岡町社会福祉協議会いわき事業所からのお知らせ◆◆

富岡町社会福祉協議会いわき事業所は、12月22日(月)から富岡町いわき地区拠点施設内に移転し、運営することになりました。

詳しくは、同封の社協だより「笑～る110号」をご覧ください。

県内初の復興公営住宅が完成 郡山市日和田団地で鍵引き渡し式



完成した県営日和田団地

11月7日、県営として初となる復興公営住宅の鍵引き渡し式が、郡山市で行われました。

今回完成したのは、郡山市内日和田地区に建設された「県営日和田団地」で、入居者や佐藤雄平知事(当時)、地元関係者などが出席し住宅の完成を祝いました。

式では、宮本町長が「町民の生活再建に向けて、大きな光が見えてくる思い。地元郡山市をはじめ、多くの皆さまのご協力とご支援の賜物であり、町としても、復興公



関係者によるテープカット

営住宅の情報提供や入居相談会の開催など、今後も住宅に関する町民の不安解消に努めていく」と祝辞を述べ、佐藤知事から入居者代表の大和田豊吉さん(岩井戸)に鍵が手渡されました。

鍵を受取った大和田さんは「入居が決まりとても嬉しい思いで、これを一步として将来を考えていきたいです。周りが富岡の方なので、新しいコミュニティを作るのが楽しみです」と語り、新しい生活に向け期待を寄せられました。

戦没者の冥福と永遠の平和を祈る 平成26年度富岡町戦没者追悼式



式辞を述べる宮本町長

戦争で亡くなられた方々のご冥福を祈り、恒久平和を祈念する「平成26年度富岡町戦没者追悼式」が11月5日、いわき市のせきのホール鹿島で、震災後初めて執り行われました。

式には各避難先から約40名のご遺族が列席。参列者全員で黙祷を捧げ、宮本町長が「新たな富岡町の再生を成し遂げることを誓い、戦没者の御霊がとこしえに安らかなることご遺族の皆様のご多幸をお祈り申し上げます」と式辞を述べました。



町内仏教会による読経

べました。続いて塚野町議会議長と藤田保正双葉郡遺族会会長、遺族代表の遠藤美喜子さんが追悼の言葉を送り、町内の戦没者246柱の冥福を祈りました。

その後行われた富岡町遺族会主催による富岡町戦没者慰霊祭では、猪狩利衛町遺族会会長が祭文を捧げ、町内の仏教会による読経と共に先の大戦で亡くなられたすべての御霊に対し哀悼の誠を捧げました。



富岡町消防団 全国操法大会で敢闘賞を受賞

第24回全国消防操法大会が11月8日、東京臨海広域防災公園で行われ、富岡町消防団員5人が小型ポンプ操法の部に出場しました。

富岡町消防団は、震災以降途絶えていた操法大会出場に向け、4月14日から早朝訓練を開始。8月の県大会で見事に優勝を飾り、全国大会へと駒を進めました。厳しい訓練の集大成となる全国大会には、多くの富岡町消防団員や県内の消防団関係者が応援に駆け付け、選手の間には、これまでの支援に対する感謝の気持ちを込めて堂々の操法を披露しました。

指揮者を務めた阿部祥久さんは「団の歴史と伝統を無くしてはいけないという気持ちで訓練を続けてきました。これまで、県内外に避難している団員の皆さんにもご協力をいただき、感謝の念に堪えません。今回は団の垣根を越えてここまで来ることが出来ましたが、町の復興に向け団結力をさらに高めていきたいです。そして、次の若い世代にも消防団の歴史を繋いで行って欲しいと思います」と大会を振り返り、今後の活動に意欲を見せました。

宮本町長は大会終了後、「全国大会出場は、本団をはじめ団員の皆さんが一致団結しての成果であり、今回の経験は皆さんの人生の糧になるものです。古里復興に向け、今後の消防団活動に期待します」と述べ、多くの消防団関係者と共に選手の皆さんの労をねぎらいました。



全国消防操法大会を終えて
富岡町消防団 団長 安藤 治

今回の全国大会出場に際し多くのご支援と激励を賜り、誠にありがとうございました。避難先から集結した選手たちは7ヵ月前から練習を開始し、県大会を勝ち抜いて全国大会に臨みました。彼らには心からご苦労様と言いたいです。また、我々消防団が頑張っている姿を見ていただき、町民の皆様が元気を届けた気持ちで一杯でした。

今回惜しくも入賞は逃しましたが、選手たちは良い経験をさせてくださいました。彼らが頑張ってきたことへの評価は、どんなことがあっても変わることはありません。



富岡高校女子サッカー部 15人でつukんだ全国の舞台

東北代表として 全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場決定

10月24日から27日の4日間、秋田県で行われた全日本高等学校女子サッカー選手権大会東北地域大会において、富岡高校女子サッカー部が3位に入賞し、4年ぶり5度目となる全国大会への切符を手にした。

富岡高校女子サッカー部は、東日本大震災と原発事故による避難で部員数が激減。競技規定により試合に出られないなど辛い状況の中、避難先の福島県立福島北高等学校サテライト校で毎日の練習に励んできた。

平成26年4月、6人の新しい部員を迎えてメンバーは14人となり、新たなスタートを切った選手たち。その後、新たに1名の部員を加え、サッカーができる喜びをより一層強く感じている。

1月3日から兵庫県で行われる第23回全日本高等学校女子サッカー選手権大会。逆境に負けず努力を続けてきた選手たちは、2年連続の全国大会出場を果たせなかった男子サッカー部の分まで、持てる力を十分に発揮してくれることだろう。



富岡高校男子サッカー部 全国への挑戦、貫いた富岡魂



富岡高校サッカー部が2年連続の全国切符をかけ、宿敵・尚志高校と対戦した全国高校サッカー選手権福島県大会決勝戦。11月1日、小雨が降る郡山市西部サッカー場・午後1時10分キックオフ。富岡は序盤に失点するも、その後は準決勝まで無失点を誇った守備陣が尚志の得点を許さず、両チームほぼ互角の戦いで前半を終了した。

後半、尚志が怒涛の攻めを見せ5-0と富岡を突き放す。そして鳴り響く試合終了のホイッスル。涙をこらえ無念の表情を見せる選手たち。

試合後のロッカールームでは、佐藤弘八監督が「お疲れさん。ここへ連れてきてもらってありがとう。みんな本当によくやってくれた。3年生はこれからサッカーを続けて、サッカーの楽しさや素晴らしさをいろんな人に伝えて欲しい。1、2年生は負けた悔しさを忘れず、来年泣かないためにまた必死で努力しよう」と選手をねぎらった。

最後まで諦めることなくゴールを追いかけた富岡イレブン。貫いた富岡魂は、必ずや苦難を乗り越え、それぞれの夢と光をつかみ取るに違いない。



男子サッカー部 佐藤 弘八 監督

選手たちは、震災後の困難な状況を承知で富岡高校に入学し、目標に向かってよく頑張ってくれた。今年も全国へ行き、富岡町民に勇気や元気を届けたかった。それが出来ないのがとても悔しい。

これまで支えていただいた方々に心から感謝したい。皆さんが応援してくださるのは、やはり自分たちに富岡高校という名前があるからだと思ふ。富岡高校である限り、選手と共に前へ進んでいきたい。



高野 愛さん (3年 二本松市出身) 猪狩 有莉さん (2年 いわき市出身) 江下 若葉さん (2年 いわき市出身) 鈴木 麻海さん (2年 いわき市出身) 鈴木 美紀さん (2年 会津若松市出身) 二ノ宮 千穂さん (2年 会津若松市出身) 二瓶 葵さん (2年 郡山市出身)

官野 紗彩さん (1年 会津若松市出身) 佐藤 優さん (1年 喜多方市出身) 設楽 千夏さん (1年 郡山市出身) 澁谷 帆香さん (1年 福島市出身) 鈴木 綾乃さん (1年 会津若松市出身) 渡部 望さん (1年 下郷町出身) 秋元 遥さん (1年 富岡町出身)



震災があり、人数が揃わない中で選手たちは戦い、これまで悔しい思いをしてきました。震災以降、今年初めて部員が14人となり、全国大会出場を決めることができ、大変嬉しく思っています。

全国を目標にこれまで頑張ってきた選手たちには、より高い所に基準を置いて、全国の舞台でも臆することなくプレーしてほしいと思います。そして、富岡という名を大切に戦ってきます。



女子サッカー部 松本 克典 監督

東北大会では、勝ち進んでいくにつれ、いい緊張感を持って試合に臨むことができ、チームとしても成長できたと思います。

全国大会ではまず1勝を目標に、また富岡町民の皆さんに元気を届けられるようなプレーをしたいです。



主将 今野 楓さん (3年 福島市出身)

東京電力の損害賠償における課税地目で確認できない土地の取扱いについて

東京電力では、土地の賠償について当該土地の固定資産課税情報に係る課税地目を基に「宅地」「田畑」「宅地・田畑以外の土地」の3つの賠償項目に分けて、それぞれ請求受付を開始しております。

しかし、皆さんが所有されている土地によっては、課税地目と利用実態が異なっているケースがあることが予察されます。

そこでこのようなケースについて、賠償上どのように取扱われるかをまとめましたのでご参照ください。なお、詳細については下記「財物ご相談専用ダイヤル」にお問合わせください。

賠償項目	課税地目により確認できない場合の取扱い
宅地	<p>○宅地の賠償上の評価方法は「定型評価」と「現地評価」</p> <p>○「定型評価」で確認できない場合には「現地評価」を選択 ⇒専門家の現地調査により以下を確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">宅地と認定できる面積</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">宅地の単価</div></p>
田畑	<p>○証明書類により、田畑であることを確認 【確認できた場合】⇒田畑として賠償 【確認できない場合(証明書類が無い場合を含む)】 ⇒田畑の賠償とはなりません。 ⇒ただし、請求者自身により当該土地を田畑として利用していることを申し出ることで、東京電力が個別対応することになっています。 「財物ご相談専用ダイヤル」にご連絡ください。</p>
宅地・田畑以外の土地	<p>○証明書類により、原発事故時点での土地利用状況を確認 【確認できた場合】⇒確認状況に基づき該当項目により賠償 【確認できない場合(証明書類が無い場合を含む)】 ⇒「財物ご相談専用ダイヤル」にご連絡ください。 ⇒課税地目が農地で、農地以外の土地として利用している場合は、農地転用許可に係る書類(農地転用許可書、農地転用届など)をご提出いただかなくても「宅地・田畑以外の土地」として請求可能です。なお、時価相当額の算定に影響する場合がありますので、農地転用許可に係る書類をお持ちの方は、東京電力にご提出ください。 ※課税地目が田畑である造成工事済みの土地を「田畑」の賠償として既に合意をしている場合でも、改めて「宅地・田畑以外の土地」として請求可能です。</p>
全てに共通	<p>○ご自身で「不動産鑑定評価書」をお取りいただいた場合は、当該鑑定評価額を時価相当額として賠償金額を算定 ※「不動産鑑定評価書」を取る費用は、自己負担になります。 ※東京電力が鑑定評価の前提条件等を確認する場合があります。</p>

☎ 東京電力株式会社 福島原子力補償相談室
「財物(土地・建物・家財)ご相談専用ダイヤル」
☎ 0120-926-596 (午前9時～午後9時)



富岡町表彰式及び新年賀詞交換会の開催

平成27年富岡町表彰式・新年賀詞交換会を左記の日程で開催いたします。

▼日時

平成27年1月22日(木)
午前10時から

▼場所

パレスいわや

(いわき市鹿島町久保字梅田4-1)

▼参加費 無料

▼参加申込み方法

町コールセンターへ、お電話にてお申込みいただき、①団体名②職名③氏名④連絡先をお伝えください。
※個人での参加も可能です。

▼申込期限
平成26年12月25日(木)

☎ 総務課 総務係

公的年金等受給者の児童扶養手当申請について

これまで、公的年金(老齢・遺族・障害年金等)を受給している方は児童扶養手当を申請することができませんでしたが、児童扶養手当法の一部改正に伴い平成26年12月1日より申請できるようになりました。

なお、公的年金等が児童扶養手当を下回る場合は、その差額分が支給されますが、逆に公的年金等が児童扶養手当を上回る場合は、当該手当の申請ができない場合がありますので、予めご了承ください。
申請等各種手続きについては、避難先の市区町村に、郡山市に避難されている方は、富岡町役場健康福祉課福祉係までお問い合わせください。

※法改正後の手続きとして、子どもの加算措置をせずに障害年金と児童扶養手当を受給している方は、障害年金における子どもの加算手続きをしていただくこととなります。

☎ 健康福祉課 福祉係

富岡町ごみ出しカレンダー

平成26年 12月							平成27年 1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
11月30日	1	2	3	4	5	6	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1	2	3
燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日							〈回収業者はお休みです〉						
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
燃えるごみ、ごみ出し日							燃えるごみ、ごみ出し日						
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
燃えるごみ、ごみ出し日							燃えるごみ、ごみ出し日						
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日							燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日						
28	29	30	31	1月1日	1月2日	1月3日	25	26	27	28	29	30	31
〈回収業者はお休みです〉							燃えるごみ、ごみ出し日						

平成26年12月28日(日)から平成27年1月4日(日)は、年末年始のため回収作業を行いません。害虫獣被害等防止のため、この期間のごみ出しはご遠慮くださいますよう、ご協力をお願いいたします。
ごみは分別したうえで、上記の回収日にお出しください。回収業者は、数日かけて町内のごみステーションを巡回し、順次、ごみの回収を行います。
粗大ごみやリサイクル対象家電、危険物等は、ごみステーションでの回収はいたしません。分別方法やごみの出し方については、11月21日発行の広報お知らせ版に同封の「平成26年12月からのご家庭の片付けごみの回収について(お知らせ)」又は町ホームページをご参照ください。

☎ 生活環境課 環境衛生係

広報とみおか1月号発行についてのお知らせ

毎月第1金曜日に通常版、第3金曜日にお知らせ版を発行しております広報とみおかですが、平成27年1月は合併号として1月16日(金)に発行いたします。皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。

年末年始等の帰還困難区域への立入り(通過含む)について

12月24日(水)から1月15日(木)は、国コールセンターによる受付業務及び一時立入りを原則として実施しません。

▼注意

- ①申請内容の確認、通行証の発行及び郵送期間等を考慮し、立入り予定日の10日前までに申請してください。

の急激な悪化が見込まれる場合は、立入りのご遠慮をお願いすることがあります。

へ避難しているが、南相馬市の会社へ通勤している

付及び通行証の交付を行うことができません。

- ②町外の「帰還困難区域」を通過して、町内の「避難指示解除準備区域」又は「居住制限区域」へ立入りを行う場合

「帰還困難区域」内は、通行できる道路及び時間が限られます。

他町への相談

Table with 3 columns: 自治体名, 担当部署, 電話番号

富岡町奨学資金制度

町では、経済的理由により就学が困難な方を対象に、奨学資金を無利子で貸付しています。

◆対象となる方

- ①品行が正しく、学術にすぐれ、身体が強固であること

Table with 3 columns: 区分, 奨学金(月額), 貸与期間

※卒業の6ヵ月後から、貸与期間の2倍の期間以内

- ③経済的理由により、就学が困難と認められること

申請期間

- ④同種の奨学資金の貸与、給付を受けていないこと

申請期間

- ⑤世帯全員の所得が町奨学資金貸与条例施行規則に基づき基準以下であること

申請期間

福島地方法務局からのお知らせ

平成27年1月5日(月)から、田村市役所(新庁舎)で登記事項証明書等の交付が受けられます。

- 全国の土地・建物及び、会社・法人の登記事項証明書発行

福島地方法務局郡山支局

個人事業税の課税時期変更について

※募集要項は、町教育委員会に備え付けてあります

町教育委員会 教育総務課

臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の申請はお済みですか？

町では、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の支給対象者の方へ7月15日に申請書を郵送いたしました。

健康福祉課 福祉係

放射性セシウム濃度測定日のお知らせ

Table with 3 columns: 受付月, 測定日, 測定場所

※富岡町内の水・土壌・果樹等を測定できます。

Table with 2 columns: 実施施設, 申込み先

※各施設で予約を受け付けますので、申込み先へご連絡ください。

子どもたちの演技や学習成果披露に大きな拍手 富岡町立幼稚園・小学校・中学校 三春校 合同学習発表会

富岡町立幼稚園・小学校・中学校の合同学習発表会が11月1日、三春町の同校三春校で行われました。

今回のスローガンは、小学校が「最高の演技+みんなの笑顔=100点満点」、中学校が「輝く明日を！～For the Team～」。子どもたちが繰り広げる演劇や合唱、学習の成果発表などに、会場に駆け付けた保護者からは大きな拍手が送られました。



会場を魅了した子どもたちの熱演

未来のプロゴルファーが熱戦 第9回全日本小学生ゴルフトーナメント



大人顔負けのショットを見せる小学生選手



スタートアナウンサーを務めた遠藤雅也君(左)と遠藤駿君

富岡町と全日本女子プロゴルフ協会の共同主催による第9回全日本小学生ゴルフトーナメントが、10月12日、千葉県野田市カントリー倶楽部川間コースで行われました。

本大会は、震災前まで富岡町のリベラルヒルズゴルフクラブで行われていましたが、第6回大会から野田市の協力を得て継続開催しているものです。

当日は台風の直撃が心配されましたが、好天に恵まれ、全国9地区の予選会を勝ち抜いた117人の小学生が熱戦を繰り広げました。

なお、大会のスタートアナウンサーとして富岡二小6年の遠藤雅也君と遠藤駿君が参加し、選手たちのプレーを盛り上げました。

問い合わせ先

- 富岡町役場郡山事務所
富岡町議事事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
FAX 024-961-3441
- 富岡町教育委員会
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
FAX 024-953-6304
- 楡葉分室(復旧課・復興推進課)
〒979-0515
福島県双葉郡楡葉町大字上小崎字小山6-2
FAX 024-25-8254
- 富岡町役場いわき支所
〒970-8026
福島県いわき市平字梅本15
福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階
FAX 0246-88-1975
- 富岡町役場三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
FAX 0247-62-0901
- 富岡町役場大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
FAX 0243-48-1147
- ※上記への連絡はコールセンター
☎0120-33-6466まで
- 富岡町役場連絡所(下郡山集会所)
〒979-1132
福島県双葉郡富岡町下郡山字真壁327-1
☎ 080-5743-5409・
080-5743-5410
FAX 0240-25-8804
- 大玉仮設診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎ 0243-48-4710
FAX 0243-48-4710
- NPO法人富岡町さくらスポーツクラブ
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 024-983-5299
FAX 024-983-5297
- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3345
FAX 024-935-3346
- おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3332
FAX 024-935-3334

双葉地方広域市町村圏組合消防本部からのお知らせ

双葉消防本部では、双葉郡から避難されている方々に活動内容をお知らせするためにホームページを開設しています。10月1日に更新いたしましたので、ぜひご覧ください。

◇双葉地方広域市町村圏組合消防本部ホームページ◇
<http://www.futabashobohonbu.jp/index.html>



双葉地方水道企業団からのお知らせ

町内一部地区における水道の使用開始(再開)について

10月から上郡山地区(清水地区を除く)及び下郡山地区、並びに赤木行政区において水道の使用を開始(再開)しております。水道の使用開始(再開)を希望されるお客様は、事前に企業団へお電話にてお申込みください。お客様の立会いのもと、安全を確認したうえで給水いたします。

水道料金については、当面の間、使用水量が累積10m³以上になったときの検針月に請求いたします。

なお、水道メーター付近の調査及び止水作業のため、引き続きお客様の敷地内へ立ち入らせていただく場合がありますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

水道施設の復旧工事は、道路、下水道の復旧にあわせ、配水系統ごとに順次進めています。水道の使用が可能となった区域については、その都度、使用可能区域ごとに広報紙等により案内しますので、ご了承ください。

■ 双葉地方水道企業団 富岡営業所
☎0240-25-5315
開庁時間 8時30分～17時15分

水道水中における放射性物質のモニタリング検査結果

双葉地方水道企業団では、福島県の「水道水の放射性物質モニタリング検査実施要領」に基づき、週3回の検査を実施しております。その検査結果は以下のとおりです。

なお、10月5日及び7日に採水した検体については、ゲルマニウム半導体検査機器点検のため、いわき市水道局水質管理センターにおいて検査された結果を掲載しております。

■採水場所：小山浄水場
■水源：木戸川(ダム放流水)

採水年月日	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
9月25日			
9月28日			
9月30日			
10月2日			
10月5日			
10月7日			
10月9日	ND	ND	ND
10月12日			
10月14日			
10月16日			
10月19日			
10月21日			

※検出下限値：放射性ヨウ素・放射性セシウムに関し、1Bq/kg。
※2014年10月21日時点で、全て検出下限値未満(ND)です。

■採水場所：関根浄水場
■水源：富岡川(伏流水)

採水年月日	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
9月25日			
9月28日			
9月30日			
10月2日			
10月5日			
10月7日			
10月9日	ND	ND	ND
10月12日			
10月14日			
10月16日			
10月19日			
10月21日			

測定機関：双葉地方水道企業団
分析装置：ゲルマニウム半導体検出器
検査頻度：週3回(月、水、金曜日)
測定方法：緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法(放射能測定マニュアル(文部科学省))

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

【参考】検査日現在の目標値 (単位：Bq/kg)

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	-		10

温かいご支援に感謝いたします 全国の皆さまより、義援金をいただきました

11月3日、本町の友好都市である埼玉県杉戸町で「杉戸町産業祭」が行われ、開会セレモニーの席上、杉戸町から富岡町へ義援金が贈られました。

杉戸町には、震災後の避難所設営から現在まで物心両面に渡るご支援をいただいています。杉戸町古谷松雄町長は「富岡町とは親戚同然のお付き合いをさせていただいており、一日も早い復興をお祈りします」と述べられ、義援金を受取った宮本町長は「いつの日かご支援に恩返しができるようこれからも精進します」と謝辞を述べました。



宮本町長に義援金を手渡す杉戸町・古谷町長(左)



宮本町長に義援金を手渡す久留米市・楢原市長

11月4日、富岡町役場郡山事務所を訪れた福岡県久留米市の楢原利則市長より義援金をいただきました。

久留米市は、本町がビッグパレットふくしまに避難所を設営した直後から平成23年8月31日に閉所するまで、人的支援として2名の職員を派遣したほか、これまで3回、義援金を贈られています。

楢原市長は「富岡町の一日も早い復旧・復興をお祈りします」と語られ、宮本町長が「温かいご支援に感謝します。古里を取り戻せるよう頑張っていきます」と御礼の言葉を述べました。

晩秋の福島路を駆け抜けた古里への思い 第26回市町村対抗ふくしま駅伝

県内最大のスポーツイベント、市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月16日に行われ、県内59市町村・53チームが郷土の誇りとプライドをかけた激しいデッドヒートを繰り広げました。

富岡町は、中学・高校生を中心としたチーム編成でエントリーし、沿道に駆け付けた町民の声援を受け力走。古里への思いを胸に白河市から福島市までの全16区間、95.1kmでたすきを繋ぎ、総合成績が昨年を上回る35位、町の部16位でレースを終えました。

今大会は、5年ぶりに全てのチームが全区間を完走。その結果、いわき市が2位に3分37秒の差を付ける5時間9秒の大会新記録で総合優勝に輝き、また町の部では猪苗代町が初優勝、村の部では西郷村が2年ぶり2度目の優勝を飾りました。

区間	氏名	所属
1区	藁谷 希理	磐城桜が丘高校2年
2区	三瓶 湧大	福島高校1年
3区	半谷 昂大	若松三中2年
4区	斎藤 威	自衛隊習志野
5区	村上 紀康	福島高専3年
6区	坂本 正喜	白河消防署
7区	山田 智紀	中央台北中3年
8区	鈴木 雄翔	平三中2年
9区	佐藤 杏	猪苗代中2年
10区	坂本 恭啓	志賀林業
11区	染谷菜々美	猪苗代中1年
12区	渡邊 智幸	福大付属小教諭
13区	後藤 サン	猪苗代中1年
14区	山田 尚輝	猪苗代中3年
15区	千葉 美采	猪苗代中1年
16区	渡邊 弘貴	いわき明星大4年



6区・坂本正喜選手(右)



10区・坂本恭啓選手(右)



12区・渡邊智幸選手



16区・渡邊弘貴選手(左)



レースを終え晴れやかな笑顔の富岡町選手団

主な成績

- ◇総合(全53チーム)
 - 1位 いわき市(11回目)
 - 2位 郡山市
 - 3位 会津若松市
 - 4位 須賀川市
 - 5位 田村市
 - …
 - 35位 富岡町

◇町の部(全29チーム)

- 1位 猪苗代町(初)
- 2位 会津美里町
- 3位 三春町
- 4位 石川町
- 5位 矢吹町
- …
- 11位 浪江町
- 16位 富岡町

福島市・除染情報プラザに富岡町紹介コーナーがオープン



モニターや模型を使い、除染をわかりやすく説明



富岡町の紹介コーナー

除染の基礎知識や進捗状況をわかりやすくお知らせする除染情報プラザに、富岡町の紹介コーナーがオープンしました。

コーナーでは、町内の除染状況や復旧・復興の様子などを紹介するほか、「夜の森の桜」「麓山の火祭り」の写真や松明(たいまつ)、また、「おだがいさま工房」で作られた作品なども展示されています。平成27年1月まで設置されており、ぜひ足をお運びください。

【除染情報プラザ】

- ・開所時間 10:00~17:00
(月曜日定休、祝日の場合は翌日定休)

TOMIOKA 桜通信

第32号

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」は、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



今でも、故郷への愛着は変わりません

仲町行政区域長。今年3月に開催された行政区総会で就任した。若い頃、少林寺拳法に出会い、富岡町少林寺拳法スポーツ少年団の指導者を務めていたが、避難により活動は休止状態にある。

人の命を預かることの難しさ。私は社会福祉法人福島県福祉事業協会に勤務し、当時町内にあった障がい者支援施設東洋学園成人部の施設長を務めていました。被災当時は勤務中で、仕事の合間

をみて短時間ながら自宅の様子を見に行くことはできましたが、妻や母のことは長男らに任せ、施設入所者の皆さんの安全確保にあたりました。

震災発生翌朝、家族の方が引き取ることができない入所者約40名と共に町を離れ、当協会が運営する施設あぶくま更生園を経て、川内村内の避難所に移りました。しかし、入所者は障がいがあり、町民の方と同じ避難所に入ることは難しい状態にあることから、川内村長のご配慮で、体育館を留意していただきました。

間もなく川内村も全村避難となったため田村市内の施設に移動し、約1ヵ月程生活したあと、平成23年4月から当協会各施設の入所者と共に千葉県立鴨川青年の家に移りました。現地では、千葉県や鴨川市、亀田総合病院(同グループを含む)など多くの方々から多大なご支援を頂きました。その後、平成24年1月にいわき海浜自然の家に移り、同年8月から現在運営しているいわき市内郷の仮設支援施設で業務にあたっています。

この3年8ヵ月の間、原発事故をはじめとした有事を経験しましたが、入所者の皆さんの安全を守らな



まちの思い出

くてはならないことの難しさを改めて実感させられました。

節目の年を迎えたが

震災前は自宅の敷地内に少林寺拳法の道場を設け、その道場と町武道館を会場に、スポーツ少年団等の活動を行っていました。少林寺拳法は、相双地区ではまだ珍しい存在で、楡葉町と私のところ以外、道場がありません。震災発生の直前で約25名の門下生がおりましたが、避難後は活動できていません。

また、震災が発生した年は道場を開設して10年目を迎えており、その節目に記念行事等を思案していましたが、今となってはそれも叶わぬものとなってしまいました。

昨年、還暦を迎えました。今年で仕事も定年を迎えましたが、復興への道半ばであり、しばらくはこれまでの経験が障がい者福祉の役にたてればと思っています。

また、避難により行政区活動もままならない状態が続いています。先輩世代から受け継いだ地域の繋がりを守っていくためにも、新任の区長ではありますが、活動していきたいと思えます。



まちの思い出

遠藤 啓子さん (仲町)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



毎日「忙しく」することが「自立の一步」

「浜の風」が恋しい
県内の避難所や県内外の親類宅を経て、次女一家が暮らす岐阜県大垣市内の公営住宅でしばらく生活していました。同市では周囲の皆さんに温かく迎え入れて頂き、友人もできました。そうした皆さんへのご恩にはいくら感謝しても、感謝しき

町内下千里生まれ。結婚により仲町行政区に移った。
長年、農業の傍ら地域や町の女性活動にも積極的に参加してきた。

「忙しい日々」を再び
県内への帰還を果たし、富岡で生活していた頃のように、各種生涯学習講座・教室への参加を始めました。富岡町では童謡教室に通っていたこともあり、いわき平交流サロンの会場に開催されている童謡サークルに参加しました。そうした縁で、今年7月にいわきアリオスで行われた「ハーモニーの喜びコンサート」に合唱団の一員として舞台に立ち、「ふるさと」をはじめ数曲を歌わせて頂きました。また、童謡サークルで歌唱指導に

れないほどですが、やはり生まれ育った土地の空気を忘れることはできませんでした。そのため、大垣市で生活している間、福島県内で生活している妹や友人と頻りに連絡を取り合いながら、仮設住宅入居者募集への応募を続けました。福島県内各地に仮設住宅があるとはいえ、やはり故郷に近いところ、そして、富岡町と同じように海風を感じられるところを希望し、現在生活している仮設住宅への入居が決まり、平成24年秋からいわき市での生活が始まりました。

「人のつながり」を大切に
大垣市でお付き合いが始まった友人の皆さんとは、現在も交流を続け、手紙のやり取りや季節ごとの野菜、果物を送り合うなどしています。先日、その友人たちが私の元を訪ねて来てくれました。友人らにとって初めての被災地となりましたが、私たちが生活している様子をはじめ「被災地の現状」をよく見てくれたものと思っています。
現在、被災まで一緒に生活していた家族とは離れて生活していますが、寂しく思うこともありませんが、同じ市内で避難生活を送る姉妹や友人、同じ仮設住宅で生活している皆さんとのつながりを大切にしていきたいと思っています。

高橋 実さん (西原)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



ストレス解消をしながら夫婦で過ごしています

北海道赤平市出身。
勤務先の事業展開により富岡町に赴任した。その後、町内で結婚したことを機に、富岡が生活の拠点となった。
現在、柴原秋久仮設住宅で自治会長を務めている。

想像を超える「田舎さ」
私の出身地である北海道は、札幌市などの主要都市を除いて農村地帯と原野です。生まれ育った赤平市もそうした田舎の一つですが、当時はまだ炭鉱が稼働していたため、町には賑わ

いがありました。22歳で上京しましたが、「田舎好き」な私にとって、都会の雑踏は性に合いませんでした。
そんな中、昭和50年に仕事の関係で富岡町に赴任しました。実際に移り住んでみると、午後7時には街から人影が消え、買い物もできなくなってしまうという田舎っぷりは出身地を超えるものがあり、正直、驚いたこともありましたが、しかし、田舎好きの私にとっては快適な環境で、私のように他の土地から移ってきた者でも温かく迎え入れてくれました。そんな人情に厚い土地・富岡が大好きでした。
富岡への赴任後、皆さんの人情に触れながら色々とお世話になり、結婚し子どもにも恵まれました。
富岡らしさを感じられる生活を原発事故により、住み慣れた町を追われてしまいました。私のように全国各地で単身赴任を続けてきた者にとつては、場所を変えての生活経験があるため、生まれてから富岡で生活を続けていた皆さんより避難生活の苦痛は少ないのかもしれない。しかし、海風と冬でも陽が差す富岡を恋しく

思う気持ちに変わりはありません。
私は平成24年4月から、前任者の退任に伴い三春町柴原秋久仮設住宅の自治会長を務めさせていただいており、この仮設住宅は、戸建て形式の造りで最大約50世帯が入居できます。東向きで三春湖に面しており、春には満開の桜で爛漫の景色が広がります。避難所で生活していた頃、各地の仮設住宅を下見しましたが、この仮設住宅が一番気に入りました。
ここには当町の方のみが入居していませんが、町内各地から集まっているため、お互いに打ち解けるまでそれなりに時間がかかりました。とにかく、和気にあふれ、人情が厚い「富岡らしい生活」に近づけるよう努力しています。そのため、できる限り外へ出て話をしようと呼びかけました。また、春は花見、秋は芋煮会、冬にはクリスマスパーティーとイベントを企画し、皆さんに参加していただいています。
現在、復興公営住宅の建設が進んでいます。帰還までの仮住まいとはいえ、長期の居住になるうかとは思いますが、人とのつながりを大切にしながら、時間を大切にしていきたいと思っています。



夫婦で元気になっています

釣具店は祖父が創業し、総菜店は約40年前に私が始めました。惣菜店を始めた頃は、フライなどが珍しい時代でした。その後、生活がハイカラになりフライは珍しいものではなくになりましたが、その代わり夫婦共働き

こだわりの総菜づくり

中央通り商店街で釣具店と総菜店を営んでいた。避難後もお客からの声が多い。富岡高校の生徒たちからは、「おふくろの味ならぬ」「じいちゃんのお味」として親しまれていた。

全国から「じいちゃん詣で」のお客様が。当店のお客様は、地元富岡町をはじめ南相馬市からいわき市までに及びました。その中には、部活動帰りの中学生や高校生も少なくありませんでした。揚げるための数分間はお客様とのふれあいの場でもあり、私にとっても楽しみな時間でした。

店の仕事は朝から行っていました。が、昼過ぎまでは仕込み、夕方近くになって油に火をかけるという日々を送っていました。そのため、大地震に遭った時は仕込みが終わる一息ついたところで、火の気が無かったことが不幸中の幸いでした。

や核家族化のため、フライは「家庭で揚げるものから買うもの」に変化しました。ここ十年ほどは、スーパーやコンビニでも総菜類が並んでいます。が、そうした中でも当店は手作り注文を受けてから揚げるため、揚げたてが美味しいとお客様からご愛顧いただきました。

特に、富岡高校の生徒たちは、早くから親元を離れて生活していたため、学校のことや専門で打ち込んでいる競技のこと、また、離れて暮らす家族のことなどを多く話してくれました。私

富高卒業生の活躍に感動。避難により、富高生や卒業生をはじめとする多くのお客様との触れ合いも無くなってしまうかもしれません。しかし、震災後も活躍を続ける彼らの姿をテレビなどで目にする、妻と共に「この子はコロッケが好きだった」などと昔を思い出すと共に、彼らの雄姿は避難生活の上で大きな励みにもなっています。

また、富岡高校を訪れた生徒の保護者の方々が、子どもたちから聞いていた「じいちゃんのお味」を二度味わってみたいと、学校参観等の帰りに立ち寄ってくださることもありました。

は彼らの祖父になったような気持ちで話を聞き、時には説教じみたことを言うこともありました。そうした彼らの多くが、卒業後に富岡を訪れた時は「覚えてますか?」と店に寄ってくれました。在校時と変わらない彼らとの関係に胸が熱くなる思いでした。



規則正しい生活が「健康長寿への第一歩！」

会津若松市出身。警察官を拝命したが、結婚を機に退職。転勤により県内各地に転居したが、中でも富岡町を気に入って自宅を建てた。

海がある富岡に惚れ込み・・・

私は同じ警察官だった夫と職場結婚しました。結婚した当時、転勤は単身赴任ではなく家族での転居が当たり前だったため、夫婦それぞれに転勤がある状態で仕事を続けることはできませんでした。

結婚後、夫の転勤により県内各地

で生活しましたが、中でも気に入ったのが富岡町でした。会津出身の私にとって、目の前に海が広がり、冬でも暖かく陽射しがいっぱい土地は夢のような場所でした。子どもたちは富岡で育ち、平成9年、長男一家と同居するために自宅を新築しました。また、長女は町内の方と結婚し、被災前年、町内に家を建てました。私たち夫婦には、それぞれの出身地はあっても、人生の中では富岡で過ごした時間のほうが長く、富岡で生まれ育った子どもや孫たち同様、ここが故郷です。

芸に身を助けられ縁が生まれる

私は若いころから鼓などの邦楽に親しんできました。富岡では、いわき市内で教室を開いている福原鶴十郎師匠に師事していました。その縁で、避難後、同師匠ゆかりのある浜松市で行われた地元の邦楽演奏会に招待され、富岡の自宅から持ち出した愛用の着物を着て舞台上に立ちました。その様子が地方新聞の記事になりました。それ以降、福島県内で行われる邦楽舞台にも参加が続いています。邦楽では着物を着ることが多い

め着付けも習得し、富岡では「着付けサークル絆会」を主宰させていた。同会は、学びの森を会場に生涯学習教室の一つとして活動する一方、国際交流協会や外国人向けの着物マナーについてお話ししたり、茶道サークルとの交流として初釜に参加したり、また、子どもたちの夏休み期間には、小学生親子を対象に浴衣教室を開催するなどして、避難により絆会会員は各地に離散してしまいましたが、互いに連絡を取り合うなどして、今でも交流を持ち続けています。

また、現在生活している三春町でも声をかけられ、平成25年6月から同町歴史資料館を会場に着付けサークルに参加させて頂いています。同町では夏に二日間をわたって盆踊りが行われるため、親子を対象に浴衣教室をさせていただいています。

この町で生活して3年以上経過しますが、歴史を含め色々調べたことが縁で、「三春町観光ボランティアガイド」に登録して活動しています。着付け教室同様、少しではありませんが、日頃お世話になっていることへの恩返しになればと思っています。

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)
 ※以前の線量と比較することを目的とし、6ヵ月前の町内線量と除染済みの測定場所を示しました。

No.	測定場所	H26.11.4~6		H26.5.9~10		除染状況
		天気:晴れ		天気:晴れのち雨~晴れ		
		地上1m	地上1cm	地上1m	地上1cm	
1	下千里消防屯所	0.41	0.39	2.40	4.25	除染済み
2	上千里消防屯所	0.75	0.61	1.59	2.32	除染済み
3	杉内消防屯所	0.81	0.83	1.97	3.24	除染済み
4	第二工業団地入口	2.75	2.44	4.15	5.47	
5	高津戸集会所	1.01	0.79	2.06	1.55	除染済み
6	富岡第二中学校東側	1.63	1.92	1.85	2.20	
7	新夜ノ森集会所	4.89	6.83	5.75	7.90	
8	夜の森公園	2.28	4.14	2.68	5.72	
9	松の前待避所	6.25	6.57	9.03	10.50	
10	小良ヶ浜集会所	4.18	4.01	5.61	6.09	
11	町境(小良ヶ浜地区)	5.84	8.52	7.69	13.00	
12	深谷消防屯所	4.68	5.09	5.64	5.44	
13	富岡町宮野球場	0.84	0.62	0.88	0.68	除染済み
14	観陽亭前	0.95	1.61	1.02	2.15	
15	富岡合同庁舎西側	2.39	2.46	2.50	3.15	
16	富岡養護学校	2.69	6.34	3.27	7.57	
17	老人福祉センター	5.79	8.87	6.30	10.20	
18	夜ノ森駅	4.71	6.01	5.70	6.66	
19	王塚集会所	1.43	1.68	1.48	1.08	除染済み
20	諏訪神社前	0.90	0.72	2.81	3.24	
21	上本町消防屯所	1.14	1.26	2.90	4.03	除染済み
22	上本町集会所	0.92	0.69	2.46	2.85	除染済み
23	リベラルヒルズ入口	1.59	3.04	1.82	3.75	
24	赤木集会所	0.33	0.30	1.99	3.86	除染済み
25	上郡山集会所	0.42	0.41	1.39	1.91	除染済み
26	太田集会所	0.51	0.53	0.72	1.20	除染済み
27	原下消防屯所	0.34	0.53	1.32	1.70	除染済み
28	富岡駅	0.71	1.22	0.77	1.78	
29	清水消防屯所	0.42	0.44	1.65	2.45	除染済み
30	役場	0.75	1.11	1.07	1.25	除染済み
31	浄化センター	0.22	0.26	0.30	0.23	除染済み
32	毛萱集会場	0.33	0.34	0.44	0.49	
33	富岡保育所	0.59	0.54	1.83	3.28	
34	中央児童館	0.73	0.63	1.37	2.26	除染済み
35	栄町駐車場	0.80	0.57	1.17	0.69	
36	岩井戸消防屯所	0.43	0.50	1.52	1.92	除染済み
37	小浜住宅団地内公園前	2.69	4.47	3.13	5.76	
38	双葉環境センター	1.89	2.12	1.88	2.50	
39	NHK電波塔入口(浜街道)	2.91	4.22	3.29	4.67	
40	深谷集会所	3.78	4.29	4.94	5.27	
41	赤坂神社前	4.20	6.64	5.56	8.69	
42	太平洋フリーディング前	9.05	18.86	11.30	20.50	
43	みよし前交差点	8.60	25.72	9.79	18.20	
44	富岡自動車学校前	4.79	10.68	5.55	11.30	
45	リフレ富岡	2.93	5.06	3.51	4.86	
46	東洋育成園前	2.85	3.80	3.73	5.65	
47	富岡インター駐車場	2.53	3.50	3.16	4.23	
48	上手岡児童館	0.50	0.52	2.28	2.78	除染済み
49	下千里ライスセンター前	2.02	3.58	2.36	5.15	
50	館山荘前	2.90	3.74	3.16	4.58	
51	夜の森つつみ公園	3.46	3.96	4.15	3.99	
52	総合運動場東側駐車場	3.91	4.91	4.49	6.59	
53	華の樹前	4.08	5.54	4.97	6.37	
54	宝泉寺前	2.48	4.91	1.33	1.06	
55	国道6号第二原発入口前	0.93	1.33	1.15	1.70	
56	猪狩スタンド前	0.45	0.30	0.77	1.17	除染済み
57	なべや駐車場前	0.80	1.65	1.19	2.25	
58	大東銀行富岡支店前	0.97	1.05	1.65	2.02	
59	富岡漁港	0.40	0.32	0.47	0.49	
60	サンライズイン富岡前	0.68	0.89	0.81	2.50	
61	福島富岡簡易裁判所前	1.66	2.80	1.87	3.55	
62	ヨークベニマル富岡店前	1.32	2.42	1.56	3.30	
63	今村病院前	2.99	5.99	3.49	6.54	
64	福島銀行富岡支店前	1.42	3.16	1.73	3.64	
65	龍台寺前	1.20	2.76	1.70	4.00	除染済み
66	清水団地前	1.67	2.54	1.85	3.18	
67	猪狩電気通信工業前	1.06	1.86	1.96	3.02	
68	上郡消防屯所	0.69	0.57	1.98	3.03	除染済み
69	岩井戸鉱泉	0.97	1.46	1.18	1.57	
70	富岡工業団地	0.37	0.53	1.52	1.56	除染済み
71	成沢の滝入口	0.83	1.76	1.21	2.06	
72	沼名子橋	1.68	2.30	2.15	3.50	

測定器: γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

〈訂正〉

広報とみおかNo.602号(平成24年12月号)からNo.623号(平成26年9月号)で、放射線量測定位置を地上10cmと表記していましたが、正しい測定位置は地上1cmとなりますので訂正いたします。

とみおか保健だより



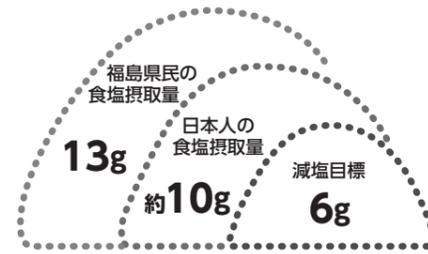
第2回 「尿中塩分量の測定ははじめました」

尿中塩分量から何がわかるの？

今年のカレンダーも残すところあと1枚。みなさん、いかがお過ごしでしょうか？
 町では、今年も郡山市・いわき市・福島市・白河市などで総合検診を行いました。
 今年の総合検診から、新たに尿中塩分量の測定を始めました。検診当日に持ってきていただいた尿から、尿中に含まれるナトリウム、クレアチニンを測定し、年齢、身長、体重などの値を計算式に入れて、摂取食塩量(推定値)を計算します。
 人間の体は、一定の塩分濃度を保つ機能がありませんので、だいたい摂取した食塩量Ⅱ尿中に含まれる塩分量といえます。尿中塩分量から、みなさんがふだんどのくらい食塩を摂取しているのか、目安が分かります。

福島県民は塩分を摂り過ぎ？

「塩分の摂り過ぎは体によくない」ことは、みなさんもよくご存じだと思います。きつとみなさんは毎日の食事で薄味を心がけているのではないのでしょうか。では、実際にわたしたちは毎日どのくらい塩分を摂っているのでしょうか？
 国が将来的な目標としているのは一日6g未満。ところが、現在の日本人の平均食塩摂取量は約10gと多く、福島県民は全国ワースト第2位の13gとなつています。なんと目標値の2倍以上の食塩を摂取しているのです！



塩分と健康の関係

塩分の摂り過ぎは、高血圧の主な原因です。高血圧の状態が続くと、血管はいつも緊張し、硬くなり、傷がつきやすくなります。特に脳・心臓・腎臓などの大切な臓器の動脈を硬くし、血管の内腔を狭くしますので、脳卒中や心筋梗塞、慢性腎臓病などを引き起こすことにつながります。
 また、塩分の摂り過ぎは日本人に多い胃がんの原因でもありますので、がん予防のためにも減塩が大切です。

はじめませんか、減塩生活！

日本で高血圧症の患者は、約4千万人といわれ、福島県でも40〜50歳代の働き盛りの人に増えているのが現状です。
 日本人は、醤油や味噌など食塩を含む調味料を用いた食事をする習慣があります。ですから、使う調味料をいきなり半分にするのは大変です。し、実行しても長続きするも

ではありません。
 まずは、次の3つを今日から始めてみませんか？
 〈だしを効かせる〉
 だしの旨みをたっぷり使うことで薄味でもおいしくなります。



〈計量スプーンを使う〉
 減塩を成功させるには「きちんと計量」して、量を目でしっかり見ることが大切です。
 〈かけずにつける〉

食べる時に直接舌にふれると味を濃く感じるのです。しょう油やソースなどはかけずにつけて食べます。



減塩することに加えて、体内の塩分を排出するのを助けるカリウムをたくさんとるために、野菜を多く食べるようにしましょう。

ぜひ、もう一度ご自身の検診結果を見返していただき、来年の検診まで「減塩生活」にチャレンジしてみましよう。



「やっこ行列」

写真提供 西山 栄さん(小浜)

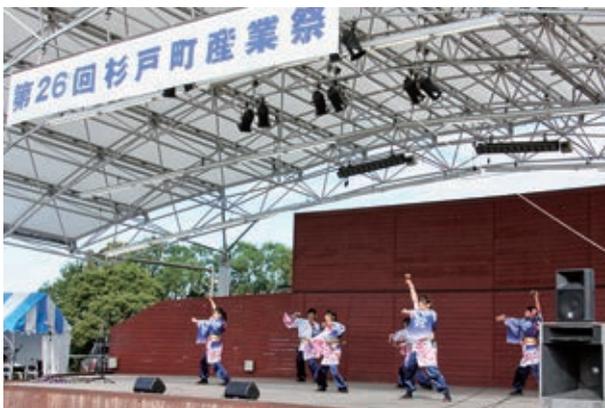


10月19日にいわき市泉駅前の大通りで行われた「赤玉やっこ行列」をスナップしたものです。この写真を「いわき市泉ふるさと祭りフォトコンテスト」に出展し、金賞をいただきました。

※赤玉やっこ行列

泉藩本多2万石、幕府老中を務めた2代日本多忠籌(たたかず)公が、江戸城登城の際に奴行列の持ち槍2本のうち1本の穂先に赤玉を飾ったものが「本多の赤玉」といわれ、いわき市泉地区のまちづくりイベント「ふるさと祭り」で、この赤玉やっこ行列を復活させました。

支援に感謝の気持ちを込め、ヨサコイの舞 杉戸町産業祭



富岡町と友好都市提携を結ぶ埼玉県杉戸町の産業祭が11月3日に行われ、「チーム富岡 さくらYOSAKOI(代表・伊藤孝さん)」のメンバーが躍動感あふれる舞を披露しました。

「私たちの元気な姿を皆さんに見ていただき、前向きに生きるきっかけとなれば」という熱い思いを込めて演舞されたとのことで、笑顔で踊るメンバーに、会場を埋めた観衆から大きな拍手が送られました。

あなたが撮った写真をお寄せください

広報とみおかでは、「My Photo Letter」に掲載させていただく写真を募集しています。募集要項等は次のとおりですので、ふるってご応募ください。

◇応募要件

- ・富岡町民で、氏名及び富岡町の行政区名を掲載できる方。
- ・テーマは風景、祭事など自由です。
- ・データの場合はメールに添付できるサイズ、プリント写真は専用の用紙に印刷されたもので大きさはL版か2L版。
- ・写真のタイトルと説明文(150~200字程度)を添付してください。
- ・応募された写真は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

- ・現在お住まいの住所、氏名、富岡町での行政区名、電話番号をご記入の上、データの場合は下記アドレスへメールで、郵送の場合は封書で下記までお送りください。

・メールアドレス
tom0200-0@tomioka-town.jp

・住所
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
富岡町役場郡山事務所企画課広聴広報係

発行／富岡町
編集／富岡町役場企画課広聴広報係
〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL: 0120-33-6466 FAX: 024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tomioka-town.jp/>
富岡町公式フェイスブック <http://www.facebook.com/town.tomioka.fukushima>
Eメールは富岡町公式ホームページの「メールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。